


かわぐち消化器内科の川口です。
2ヶ月に1回、消化器の病気について
解説したいと思いますのでよろしくお願い
致します。テーマは日常診療で頻度
の高いものからお話させていただきます。



院長 川口 義明

(第1回) 逆流性食道炎について

逆流性食道炎とは、胃酸(=塩酸)が逆流することで、胸焼け、呑酸(酸っぱい水が上がってくる)、胃痛(みぞおちの痛み)、もたれ、喉の違和感(つまり感)、咳などの症状が起こる病気です。食べ過ぎ飲み過ぎ、寝る前の飲食、脂もの・甘い物の摂り過ぎ、肥満や便秘も原因となります。食道と胃の境目にある筋肉が緩い方(食道裂孔ヘルニア)や胃腸の運動が低下している方に起こりやすい病気です。正確な診断のために胃カメラで精密検査を行うことをお勧めします。治療は胃酸の分泌を抑える薬がとても良く効きます。軽快しても再発することがありますので、食生活に気をつけた上で、薬の力を利用するといった上手なつきあい方をしましょう。

 かわぐち消化器内科

TEL 045-830-5311

横浜市港南区港南台 5-23-30
港南台医療モール 3F

午前 9:00-12:00

午後 16:00-18:00

木曜・日曜(土曜午後) 休診

※駐車場完備

<http://kawaguchiclinic.net/>

